

カートランド神殿を建てるために払った犠牲

95章が与えられた直後、ハイラム・スミスは神殿が建設される場所の整地を始めました。神殿を建てるのは難しい課題でした。その地域にいる教会員は約150人だけで、そのような大規模な建設を監督した経験や技術はだれにもありませんでした。また神殿の建設は、教会と教会員に金銭的な負担ともなりました。それでも彼らは仕事に取りかかり、主は彼らに「それを建てる力」を与えるという約束を果たされました（教義と聖約95：11）。カナダ出身の改宗者であり熟練した石工アルテムス・ミレットは、カートランドに移り、建設を監督しました。もう一人の改宗者であるジョン・タナーは、重要な局面で資金を援助しました。その地域の男性も女性も子供も、神殿建設に時間と労力と資源を提供しました。（リサ・オルセン・テイト、プレント・ロジャース「神のための宮」『啓示の背景』（2016年）167；『聖徒たち』第1巻「真理の旗」201-203参照）

- カートランド神殿を建てるために聖徒たちが払った犠牲にはどのようなものがあるでしょうか。こうした犠牲のどのようなところが印象に残りましたか。
- 主の宮に参入するためにわたしたちが払える犠牲にはどのようなものがあるでしょうか。

カートランド神殿を建てるために払った犠牲

95章が与えられた直後、ハイラム・スミスは神殿が建設される場所の整地を始めました。神殿を建てるのは難しい課題でした。その地域にいる教会員は約150人だけで、そのような大規模な建設を監督した経験や技術はだれにもありませんでした。また神殿の建設は、教会と教会員に金銭的な負担ともなりました。それでも彼らは仕事に取りかかり、主は彼らに「それを建てる力」を与えるという約束を果たされました（教義と聖約95：11）。カナダ出身の改宗者であり熟練した石工アルテムス・ミレットは、カートランドに移り、建設を監督しました。もう一人の改宗者であるジョン・タナーは、重要な局面で資金を援助しました。その地域の男性も女性も子供も、神殿建設に時間と労力と資源を提供しました。（リサ・オルセン・テイト、プレント・ロジャース「神のための宮」『啓示の背景』（2016年）167；『聖徒たち』第1巻「真理の旗」201-203参照）

- カートランド神殿を建てるために聖徒たちが払った犠牲にはどのようなものがあるでしょうか。こうした犠牲のどのようなところが印象に残りましたか。
- 主の宮に参入するためにわたしたちが払える犠牲にはどのようなものがあるでしょうか。